
さっちゃん（ライスバージョン）

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

さつちゃん（ライスバージョン）

【Zコード】

Z8867L

【作者名】

じはんライス

【あらすじ】

河野夜兎先生の「さつちゃん」に影響されて書きました。

「さつちゃんはね。バナナが大好き。ほんとだよ
みんなで大声で歌つてる音楽室。

「だけど小さいから半分しか食べられないだね。おかしいね。さつ
ちゃん」

ピアノを弾きながら、麵太郎先生は、「ん」と思つ。
美代子ちゃんだけうつむいて歌つてないな。いつもは元気よく歌
つてるのに。

む。思想的なものか。オレも高校生の頃は左翼だつたので君が代を
絶対に歌わなかつた。

しかし、小学生がそんな思想あるのかなあ。君が代とさつちゃん、
関係ないし。

「もつかい歌うよー」

「はーい」

「さつちゃんはね。バナナが大好き」

「もうやめて…………」

音楽室が静まり返つた。

「み、美代子ちゃん??」

「うわああああああん」

美代子ちゃんは走つて音楽室を出た。

麵太郎は、ちょっとクラシックでも聴いてなさい」と言つて、追いか
けた。

美代子ちゃんが廊下でぐつたり座つていた。

「美代子ちゃん」

「先生。もうあたし耐えられない」

「どうしたんだよ」

「パパが、パパが」

「うん。うん」

話を聞いて、だいたいわかった。美代子ちゃんのお父さんが美代子ちゃんのお母さんと離婚してから美代子ちゃんによからぬことをしていたのだ。

「わかったよ。わへ、わへわへはやめよ！」
「ほんと？」

「ああ。本通り」

美代子ちゃんが元気になってきた。ああ。よかつた。
麵太郎と美代子ちゃんは音楽室に戻った。

「ああ。みんな、わへわへはもうやめだ。今から笛の練習をするぞ」

「いや-----」

美代子ちゃんが音楽室を飛び出した。
「オレのバカ！---」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8867/>

さっちゃん（ライスバージョン）

2011年1月20日02時43分発行